

木津川市鹿川における防災施設等についての問い合わせと回答

京都府砂防課防災係からの返事です

----- Forwarded message -----

From: 砂防課 <sabo@pref.kyoto.lg.jp>

Date: 2025 年 8 月 22 日(金) 16:20

Subject: RE: 木津川市鹿川における防災施設等について

To: 田中芳久 <yoshi.tanaka0945@gmail.com>

田中様

お世話になっております。

京都府砂防課防災係です。

ご質問の件につきまして以下のとおり回答します。

ハザードマップ：鹿川川沿いは家屋倒壊等氾濫想定

区域（河岸侵食）に指定されていないのはなぜ？

※山松川と合流地点から鹿川下流は両岸には住宅地があり天井川として井関川に流れている。

そして、この両岸の地域は最も低地帯で過去に数回水害に見舞われた、非常に危険な住宅地域です。

ハザードマップに記載させていなければ鹿川決壊・氾濫はありえないと誤解させる。

府のHP「淀川水系山田川 洪水浸水想定区域図

（家屋倒壊等氾濫想定区域（河岸侵食）」も同様

→家屋倒壊等氾濫想定区域については洪水時に河岸が侵食され、家屋の倒壊のおそれがある範囲を示す区域です。

京都府においては流域面積が大きく比較的大規模な河川である洪水予報河川や水位周知河川において設定をしています。

（木津川市内では山田川・井関川・赤田川・和束川が該当します。）

鹿川や山松川についても浸水想定区域は市のハザードマップにも反映されており、

これについては決壊・氾濫等により浸水が生じる区域を示しております。

そのため、家屋倒壊等氾濫想定区域がないことが、決壊・氾濫がありえないということを意味しているわけではありません。

治水施設：鹿川に水位計、ライブカメラが取り付けられていないのはなぜ？

※大雨等で河川の水位を監視しながら防災行動を起こすわけですが、鹿川兩岸の住民は河川の増水状況を現地で監視しなければならぬといった最も危険な行動をしなければなりません。

昨今においては、各自治体からは「ＴＶ、ラジオ、ネットや防災無線等々で防災情報を入手し、それに応じた適格な防災活動を行いなさい」と指導されているが、鹿川においては氾濫・決壊リスクが入手できない。

→水位計やカメラについては洪水予報河川や水位周知河川、

その他市町村から要望を踏まえて設置箇所を選定しております。

京都府管理河川全 377 河川のうち、水位計が設置されているのは 170 河川、カメラは 114 河川です。

水位計やカメラが設置されていない河川においては

気象庁公開のキキクル（洪水）で情報を確認いただきたいと考えております。

<https://www.jma.go.jp/bosai/risk/#lat:34.506557/lon:136.999512/zoom:5/colordepth:normal/elements:flood>

以上よろしくお願いします。

砂防課防災係

木津川市木津地域のハザードマップについての問い合わせと回答

【国土地理院】お問合せ受付メール
受信トレイ

国土地理院問合せ窓口 <reply@mail.gsi.go.jp>
2025/08/27 9:45 (8 日前)
To 自分

国土地理院〔応用地理部〕お問合せ担当です。
問合せ番号【82504】について回答します。

■ご質問の内容

木津川市木津地域のハザードマップですが

Q 1：木津川氾濫、決壊を想定したハザードマップですか？

Q 2：井関川右岸の小川流域と左岸の反田川流域の標高が同じなのに浸水位に差があるのは何故ですか？

Q 3：内水についても反映されているのでしょうか？反映されているとなれば入力情報は何か？

以上宜しくお願いします。

■回答は以下になります

お問合せありがとうございます。

Q 1：木津川氾濫、決壊を想定したハザードマップですか？

複数の河川の洪水で浸水が予想される地点の場合は、予想される浸水深の最も大きい河川の浸水深を表示しています。

木津川のみ洪水浸水想定区域図を確認したい場合は、河川管理者は公表している浸水想定区域図をご確認ください。

(参考) 各種データの出典と問合せ先

https://disaportal.gsi.go.jp/hazardmapportal/hazardmap/copyright/copyright_data.html

Q 2：井関川右岸の小川流域と左岸の反田川流域の標高が同じなのに浸水位に差があるのは何故ですか？

地図上に表現される浸水深は、計算の基となる土地の地盤高（標高）と、浸水解析そのもの、それぞれに誤差が含まれているものです。誤差が累積しますと、検索する地点によっては、比較的大きな浸水深の差として表示される場合がございます。

(参考) よくある質問_「重ねるハザードマップについて」 Q11

<https://disaportal.gsi.go.jp/hazardmapportal/hazardmap/faq/faq.html#kasaneru11>

Q 3：内水についても反映されているのでしょうか？反映されているとなれば入力情報は何か？

洪水浸水想定区域には内水は反映されておりません。内水浸水想定区域をご確認いただくようお願いいたします。

よろしくお願いいたします。

◆ご注意◆

この回答メールは、送信専用のアドレスから送っています。

本メールに直接返信して頂いてもご質問等にはお答えできませんのでご注意ください。

再質問は以下のリンクより行うことができます。

<https://geoinfo2.gsi.go.jp/contact/inquiry2.aspx?mail=kizumatiku2020@gmail.com&docid=82504&pcode=1001&bcode=100111&mcode=10011102>

問い合わせ担当

国土交通省 国土地理院

〒305-0811 茨城県つくば市北郷1番

<http://www.gsi.go.jp/>

ハザードマップの見直し、防災情報の提供依頼と逆流防止ゲートの運用について

※2025.09.04 時点で回答なし（電話で問い合わせに対しての確認電話あり）

木津町区 2020 <kizumatiku2020@gmail.com>

8月20日(水) 20:39

To 危機管理課,

危機管理課 御中

いつもお世話になっております。

地域防災リーダーの駒井です。

以下の内容について質問と要望を致しますので宜しく
お願いします。

我が木津町区自主防災会は地域防災に向けて活動をしており、この秋にもマイタイムラインのワークショップを開催されますが、地域防災リーダーとして協力させていただいております。

【Q1】

地域の災害に対するリスクを把握するため、市が提供したハザードマップを使用するわけです。

しかし、このハザードマップは木津川氾濫を想定した「浸水想定最大規模」と理解していますが、同じ標高の木津小学校と木津町区神田地域で浸水位が異なるのはなぜなのでしょう？

あくまで推測ですが、井関川堤防で木津川氾濫流を抑えているためなのか？または、木津川からの距離があるためなのか？

しかし、木津川氾濫が起こるようなときに排水ポンプ稼働し続けて小川内水が木津川に排水していることがありうるのでしょうか？

木津川氾濫が発生した時、小川流域、反田川流域は内水により既に水位が高くなっていると考えるのが一般的ではないのでしょうか？

また、鹿川において「家屋倒壊等氾濫想定区域」表示されていないのもおかしいのでは？

以上を考慮したハザードマップの見直しを要望します。

※過去の浸水実績は表示されているが木津町区浸水深
は殆んど3m未満で「早期立退き避難区域」ではない！
本当に大丈夫なの？

【Q2】

小川、反田川水位と及び鹿川河川における治水施設について水位情報とライブカメラによる河川状況をネット等で情報公開できるよう早急をお願いします。

マイタイムライン作成で重要なポイントである防災情報の入手が必須であるが、その情報を入手するために、河川状況を確認するために現地に出向く行動は非常に危険である。

特に、木津町区においては・木津地域の雨量、・小川水位
・反田川水位、・合同樋門閉門、・木津川水位&ライブカメラ、
・不二荘逆流防止ゲート閉門、・高山ダム放流量、
・井関川水位&ライブカメラ、・鹿川水位&ライブカメラ
の情報が必要であるが赤字については自宅で入手できないため、各個人に合った災害リスクの把握が不可能。
以上、赤字の情報を入手できるよう要望します。

【Q3】

不二荘園逆流防止ゲートの運用について、過去の大雨の時に新反田川の水位が上昇し、旧反田川、不二荘園前田圃へ逆流現象がみられたがゲートが閉じられなかったことがあった。

いろんな情報をもって問題ないと判断されたとおもいますが、台風や停滞前線による線状降水帯による降雨の場合は災害発生リスクが高まるため、逆流発生時には即ゲートを閉める運用を要望します。

特に不二荘園前の田圃は、旧反田川流域の遊水地的な働きをするため、逆流を早く止めるほど効果があります。

以上の点について、回答と早急の対処をお願いします。

地域防災リーダー、木津町区自主防災会相談役
駒井 幸夫